

かみくげ 恐竜の里新聞

平成二〇年二月二五日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第8号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001

丹波竜化石 第三次発掘調査始まる

第三次丹波竜化石発掘調査が二月二日午前より多くのマスコミが注目するなかで開始されました。年内は重機による表層の岩盤除去作業を行い、一月九日からボランティアを入れての手掘調査が二月末まで行われます。

今までに産出した化石は全体骨格の約三〇%で、連なった状態の尾椎や肋骨、血道弓のほか腰や頭部の部分骨や破片もたくさん見つかり、三次調査では前脚、後脚と首の発見が期待されています。前脚は丹波竜の進化の過程を知る上で、首（頸椎）の発見は体長を推測するのに必要で、頭部の下顎骨は顔の形の復元につながるとされています。これらの発見が新たに加われば全体骨格がほぼ完成し、種類の断定も可能になってきます。

一〇月中旬には人と自然の博物館の三枝主任研究員らがアメリカ、オハイオ州での古生物学会世界大会に参加し丹波竜を紹介されました。一〇〇〇人の参加者の中でも著名な恐竜研究者の多くが丹波竜に深い関心を示されたと同行した池田研究員は話してくれました。第

三次発掘への期待はますます大きくなってきます。みなさんには調査結果を注視して見守って欲しいと関係者は言っています。



微妙寺（下滝）に新住職 三〇年ぶりの晋山式で披露

微妙寺（細川誠雄住職）では一月二四日新命和尚（細川慈真さん）の晋山式が行われました。約三〇年振りに住職の

交代が住民に披露され、多くの檀家や見学者が新住職の就任をお祝いしました。当日は「曇りのち雨」の不安定な天候でしたが、新命和尚を先頭に青田の小谷敏雄寺総代方から寺まで稚児行列に参加した八〇人の子供や保護者らの長い列がゆっくりと練り歩き、寺前広場で御守やお菓子を受け取り記念写真におさまっていました。式には地元の寺院の他、遠来からの四〇数名の僧侶が参加し、おごそかに式典をとり行いました。祝賀には地域づくりセンターを貸し切ったのは地域内の大きなイベントとなりました。新住職の就任式を見守った現住職の細川誠雄さんは新命和尚の晴れ姿に感慨と安堵の表情を表わされていました。新住職となった慈真和尚は「皆様と力をあわせ法灯を守っていききたい」と抱負を語っておられました。



見つけたぞ！ 恐竜化石 発見体験教室で上久下小五児童



上久下小五年生児童が恐竜の部位不明の骨片（長さ三センチ）と小動物の肋骨（長さ五ミリ）を地域づくりセンター広場での化石発掘体験教室で発見しました。発見したのは藤本章良君と村岡美砂緒さんです。

二月一六日午後、五年生一七名の課外活動で、丹波竜発掘現場から運ばれた石くずをさらに細かく割って調べている途中に見つけました。別の児童も恐竜と思われる骨片や炭化した植物化石など数点を見つけました。引率した梅垣教諭は「地元の上久下小学校の子どもが見つけてくれたことがうれしい」と顔をほころばせ、恐竜の部分骨を発見した藤本章君は「わってみたら、いきなり光っているものがありました。よく見たら骨のようでした。恐竜の骨だと思いました。センターの村上さんに恐竜の骨かもしれないと言われた時はうれしかった」、小動物の肋骨をみつけた村岡さんは「（つまんない）と思うながら、エイッとわったら、何かが見えました。とりあえず、村上さんに見てもらって化石とわかってびっくりしました」と発見時の感想を語っていました。

われらが里の元気人 見つけた！ 4

桐林まさゑさん
(九四歳・阿草)



桐林さんは大正三年、寅年生まれの九四歳で阿草地区では最高齢ですが、今も元気で暮らしておられます。お家を訪ねた日は、この時期にしてはめずらしくほかほか日和で、心地よい太陽光が差し込む縁側に座ってお話をうかがいました。桐林さんは今は息子さん夫婦と三人で暮らしておられますが、五人の子どもさんを育てられ、孫一人、ひ孫一人にめぐまれゆったりと過ごされています。

若いころから病気で医者にかかったこともなく、食べ物に好き嫌いはなく、何でもおいしくいただき、集落内のゲートボールにも好んで出かけられています。メガネなしで新聞も読め、耳も日常

の会話に何の不自由もなく、背筋もきちんと伸ばして、肌つやもよく、誰が見ても一〇歳から一五歳は若くみられるお婆ちゃんです。ただ、周囲への気遣い、遠慮がつよく、長生きして若い者に迷惑をかけたくないと繰り返えされていますが、「元気でいること」そのことが迷惑をかけることとご本人も納得されています。

元気で新年を迎え、健康で長生きしてもらい、五年後、一〇年後に再度「里の元気人」コーナーで取材に伺いますよと言って、笑ってお別れしました。取材へのご協力ありがとうございました。

上久下小三五年卒同窓会 地域づくりに寄付金

昭和三五年の上久下小学校卒業生が集まり「松原楼」で還暦同窓会を開きました。

四二名が地元や阪神間から参加し、元気で再会を喜び、子供のころを懐かしみ懇親を深め駅前恐竜親子像の前で記念写真におさまっていました。

代表幹事(青田・斎藤幸一さん)から上久下地域づくりセンターに「参加費の残金ですが地域づくりに使って欲しい」と六万二千円の寄付の申し出があり、里づくり協議会が進めるまちづくりに活用させていただくことになりました。協議会では参加のみなさんのご厚意に感謝し、地域のために役立てたいとしています。

クラブ活動紹介 健康体操

⑤

今回は健康体操クラブを紹介いたします。メンバーは六名で永井洋子さん(下滝)の指導で月二回活動しています。クラブが発足して三年目を向かえ、現在のメンバーは最初からの同じ顔ぶれで、和気あいあい健康づくりに取り組んでおられます。健康体操の効果は？とたずねると「外見上が目立った変化はなかなか認められないが、散歩や山登りなどすると疲れ方がぜんぜん違うのを感じられる」とのことでした。継続は力なりを地で行っているクラブでした。



サentakクロスがやってきた 上久下愛育班

二月二日、地域づくりセンターで上久下愛育班の親子三〇人が一足早いクリスマス会を楽しみました。

こどもたちはいづみ会のメンバーが用意したおやつを食べたり、保護者の一人の指導で一緒になってブルーナーを作ったりして楽しみました。母親たちは子育て問題などで意見を交換した

りしてなごやかに懇談していました。昨年に引き続きサentakクロスも登場し子供たちにプレゼントを手渡ししていました。



県警本部長が駐在さんを激励 下滝駐在所 橋本義満さん

二月一七日、兵庫県警察本部の部長一行が下滝駐在所の橋本さんを激励に来られました。

橋本さんは地区内住民の安全・安心の生活を守るため、地区内を頻繁にパトロールし、住民とのふれあいを大切に、お年寄りには親切に声を掛け、子どもたちの登下校には目を光らせ、私たちの誇れる駐在さんです。この橋本さんを本部長が訪ね、激励してもらったことは私たちにとても大変うれしいことです。橋本さんには今後とも地域のために頑張っていたかどうかからエールを送りたいとおもいます。

- 一月の予定
- ◆ 一月五日 地域づくりセンター仕事初め
 - ◆ 一月九日 丹波竜手堀発掘調査開始
 - ◆ 一月一〇日 里づくり協議会定例会議 午後七時三〇分
 - ◆ 一月十一日 新年賀詞交換会 午前一時